

きほく川柳会

宙掴むごとき話の絵空事

宮岡 沙代

この歳で掴む柳の枝がない

渡辺 光男

傷心が掴む一つの詩がある

森本 幸美

子のために明日へ生きる火を掴む

金子すすむ

傍迷惑スモッグ飛ばし知らぬふり

武田 浅美

指輪外して男を騙すくすり指

宮川 柳酔

禍と福の福の巡りが悪すぎる

財前 溪子

三年が巡りフクシマまだ汚染

合田 悦子

狭き門補欠でもいいすがりたい

加藤 桂子

奥さまですかと問うヘルパーですと言う

都 瞳

信じきり嘘と切り替えできぬ老い

吉井 興一

すぐ自由にしてやる金よあわてるな

宇都宮 忍

ドロ舟と知って慈愛の櫓に換える

宇都宮 孝

犬掻きで吾が人生を泳ぎ切る

栗木 一郎

テストするあたまの上にはてなある

小二 池内 麗羽

はしもっているいろんなものをつかむんだ

小三 梶野 海斗

わりばしをきれいにわるのむずかしい

小四 淵本ななみ

はしをもつものをつかんで食べるんだ

小四 梶野 峰士

上むいてあるいとぶつかるとよ

小六 清原 瑠依

空の上飛行機雲ができています

小六 菅本 聖羅

ほねだけをはしで上手にとりのぞく

中三 宮川 直輝

投球をミットで受ける名キャッチャー

高一 山口はると

毎日の園の手料理箸進む

高一 榎 美琴

高景気アベノミクスの波りける

高二 山口 悠李

受けついで親子譲りのこの技術

高二 藤森 柚樹

何事も上を目指して頑張ろう

高二 清原 賢斗

上向いてお空も僕もいい笑顔

高三 清原 彩香

つらい時下を向かず上を向く

高三 梶田 拓也

竹の子川柳会

鬼北の足跡を辿る…【第7回】 新たな山城を確認！ 下大野地区・東仲地区

昨年11月から1月にかけて、鬼北町歴史民俗資料館で、行なわれた鬼北町内に点在する戦国時代の山城を紹介した企画展「戦国群雄伝・鬼北の山城を巡る」は、ご覧になられましたか。この鬼北地域に40箇所あまりの大小さまざまな山城が存在していたことに驚きの声が上がるとともに、「あの山にも山城らしき遺構があるのだが…」といった新たな情報も寄せられました。

この情報をもとに向かったのが、下大野地区と東仲地区の二箇所。山頂。地元の方の案内で登ってみると、どちらもしっかりとした山城の遺構を確認することができました。下大野中組にある山城は、「高ノ森城」と呼ばれ、宇和島藩の古文書にもその名が見えますが、これまで遺構は確認できていませんでした。

東仲にある山城は、内深田「導寺池」北側の山頂にあり、城砦名が確認できませんが、地元の人々が昔から「八幡山（はちまんやま）」と呼んでいたことから、「八幡山城」と名付けています。この二つの山城は、その規模からいわずとも山城としての機能を果たしていたと思われれます。

これだけ多くの山城が高密度に分布する地域は稀であり、鬼北地域が土佐勢との激しい攻防戦の舞台であったことを物語っています。

今後、他の未確認の山城についても順次確認作業を行っていく予定です。新たな情報をぜひお寄せください。

問 役場生涯教育課
文化スポーツ係
内線4112



山城全景
(写真上) 八幡山城
(写真下) 高ノ森城